



2がつのはげんだより

令和6年度(令和7年) 2月 江上保育園 ほげんだより

乾燥の季節です… 子どものスキンケア

【乾燥しやすい部位】



幼児は皮膚が薄く、保水力も弱いので乾燥しやすく、皮膚は乾燥すると角質層がめくれ、バリア機能が低下してしまうため、異物が入りやすい状態になります。乾燥しやすい部位は、頬、首、腕、手足などの外気にさらされるところです。これらの部位を中心に保湿剤を塗ります。また、乳児の場合には、全身を保湿するようにします。

【乾燥対策】

乾燥対策には、こまめな保湿が欠かせません。朝の着替えや、お風呂上がりのタイミングで保湿剤を塗るように決めておくと、1日2回は必ず塗る機会をつくることができます。



注意!! 唇の乾燥と周囲の肌荒れ



唇は皮膚が薄く、皮脂も少ないので、乾燥しやすく、少しの刺激でも炎症を起こしてしまいます。唇が乾燥すると気になってつい舌でなめてしまい、ますます乾燥してしまいます。歯で唇をこする、上唇と下唇を押さえつけるなどの動作も唇の荒れにつながります。こうした行動が子どもに見られる場合は、声をかけて注意しましょう。

進級・進学まであとすこし

part.2

自分でできることをふやしていこう

重ね着するとき

上手に袖を遣せるようになろう

上着などを着る時、着ている服のそでが、上がってしまっている子どもさんには声をかけてあげましょう。くり返し教えると、自分でできるようになります。励ましながら、見守りましょう。

①



着ている服の袖口をしっかりとつかんで、上着を着た時に巻き上がらないようにします。

②



袖口をしっかりとつかんだまま、上着の袖に腕を通します。